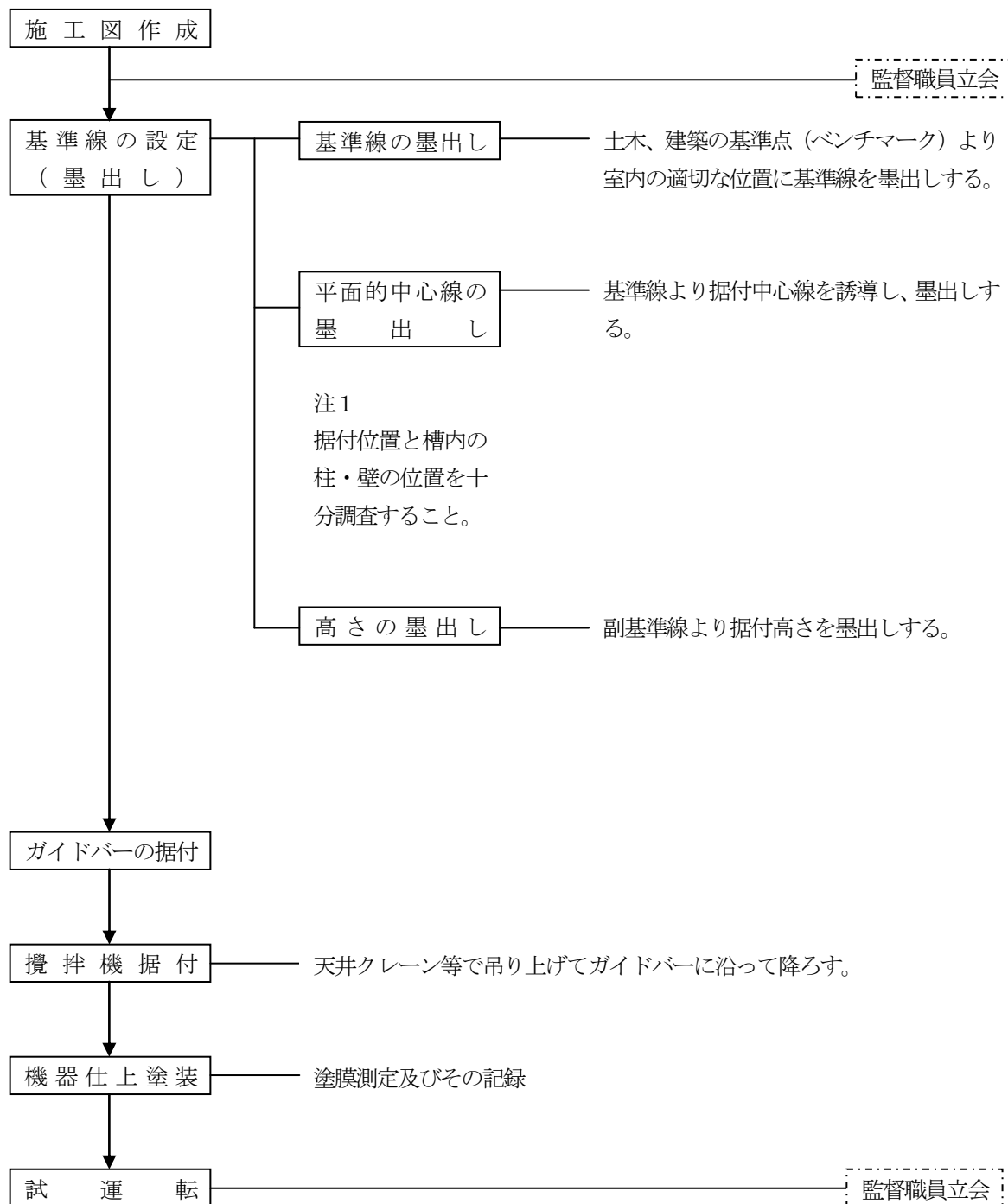


2. 10 汚泥濃縮槽及び汚泥貯留槽設備

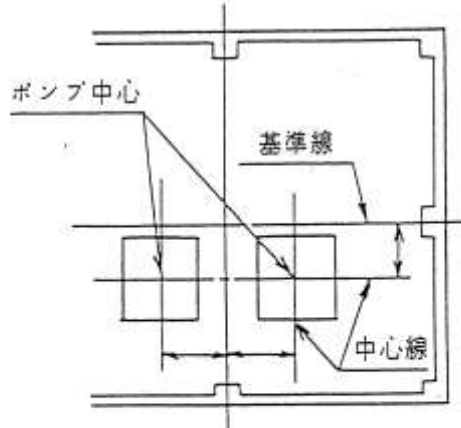
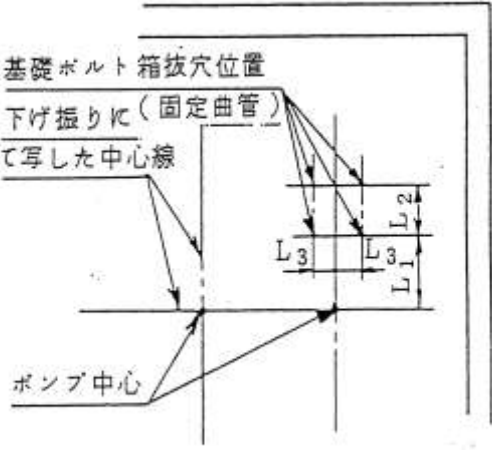
(2) 汚泥貯留槽攪拌機

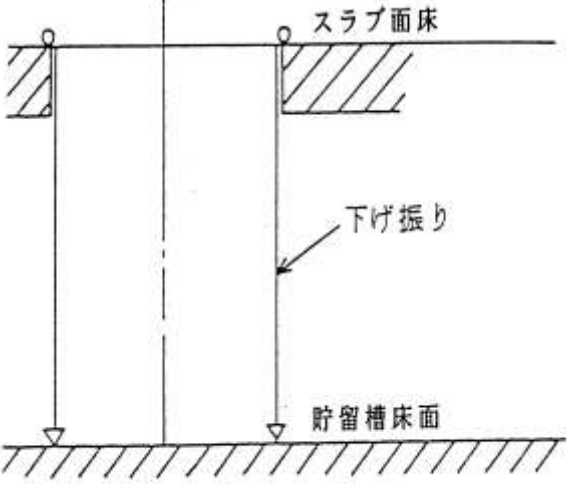
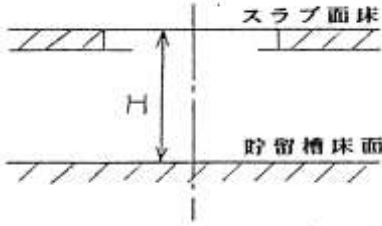
① 据付手順

(ア) 汚泥貯留槽攪拌機据付フローチャート

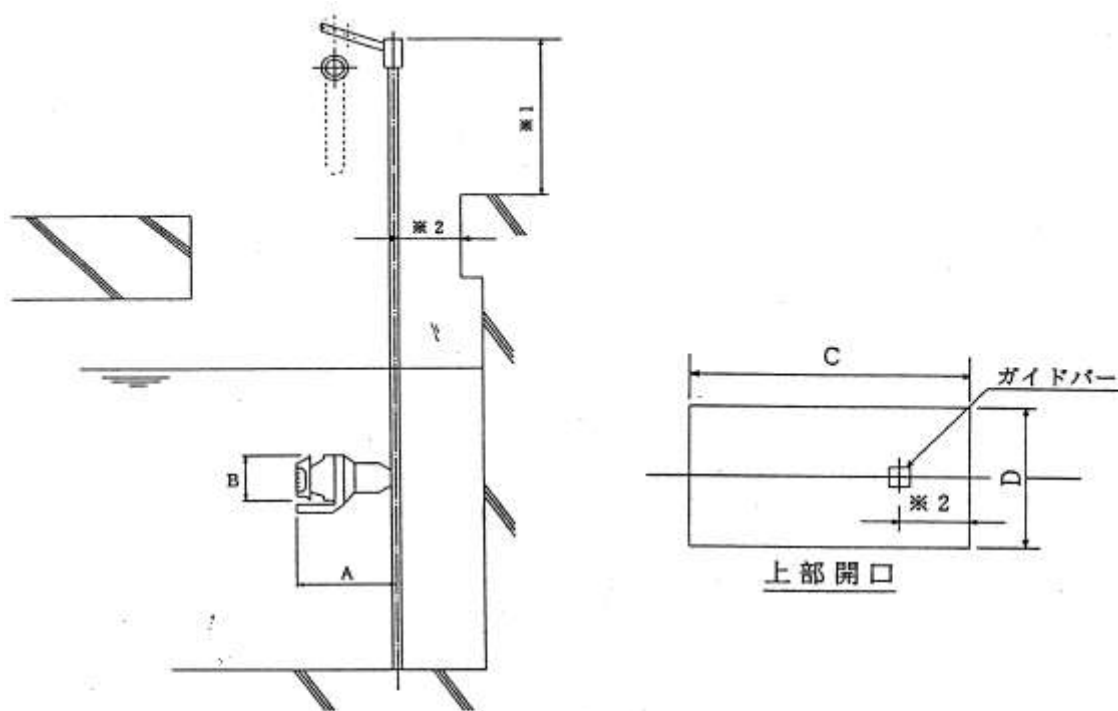


② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定箇所図
<p>基準線の設定</p>	<p>据付面の基準は、基準点(ベンチマーク)から図面寸法及び現地状況により基準線を決定し、墨出しをする。</p> <p>この場合、建屋の床及び壁など建屋内の配置をチェックとする。</p>	 <p>ポンプ中心</p> <p>基準線</p> <p>中心線</p> <p>ポンプ室床面(上床面)の基準線, 中心線</p>
	<p>スラブ面の基準線より、機器中心線を誘導し墨出しを行う。</p>	
	<p>貯留槽床面(下床面)はスラブ床面(上床面)の機器中心線より下げ振りを吊り下げ、中心線を写しとり、攪拌機中心線の墨出しを行う。</p>	 <p>基礎ボルト箱抜穴位置</p> <p>下げ振りに(固定曲管)で写した中心線</p> <p>ポンプ中心</p> <p><math>L_1</math></p> <p><math>L_2</math></p> <p><math>L_3</math></p> <p>ポンプ 床面(下床面)の中心線</p>

測定項目	測定要領	測定箇所図
	<p>スラブ床面、貯留槽床の中心線を基準に、基礎ボルト箱抜き位置を墨打ちする。</p>	 <p>貯留槽床面（下床面）への中心線写し</p>
	<p>この攪拌機を中心は、ガイドバー中心とする。</p>	
<p>据付基礎台の点検</p>	<p>スラブ床の高さを基準して、貯留槽床面までの垂直距離を確認する。(H 寸法)</p>	
<p>(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を十分に考慮し、墨出しを行うこと。</p>		

③ 据付標準基礎図



プロペラ径 (mm)	A	B	C	D
φ200 以下	700	300	1,100	500
φ500 以下	1,100	700	1,600	1,300
φ780 以下	1,400	1,000	1,700	1,300

設計条件・仕様	特記事項	施工注意事項 1.※は 200mm 以上とする。 2.※は 300mm とした場合 の開口寸法を示す。	図面名称	汚泥貯留槽攪拌機 据付標準基礎図
			図面番号	

④ 試験・試運転

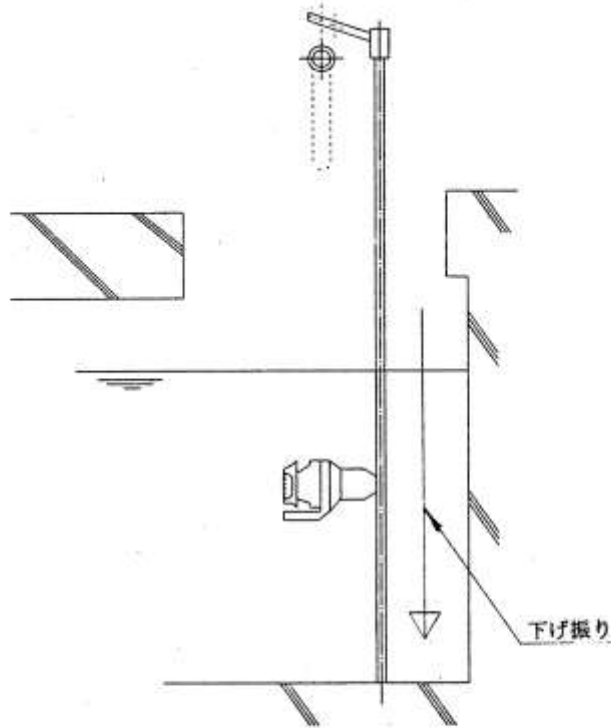
種別	試験内容	判定方法及び基準	記録方法	判定	摘 要
	電 圧	定格電圧の±10%以内であること。			
	絶 縁 抵 抗 測 定	動力及び制御回路の絶縁抵抗を測定し、0.2MΩ以上であること。	絶縁抵抗値		電気設備技術基準による。
	制 御 回 路	制御回路のチェックを行い、各機器が問題なく作動すること。			
	駆 動 装 置	潤滑油、グリス等の給油及び給油状態を確認すること。			
	回 転 方 向	正常に回転すること。			
	電 流	定格電流以下であること。			
	回 転 速 度	回転がスムーズであること。			

⑤ 施工記録

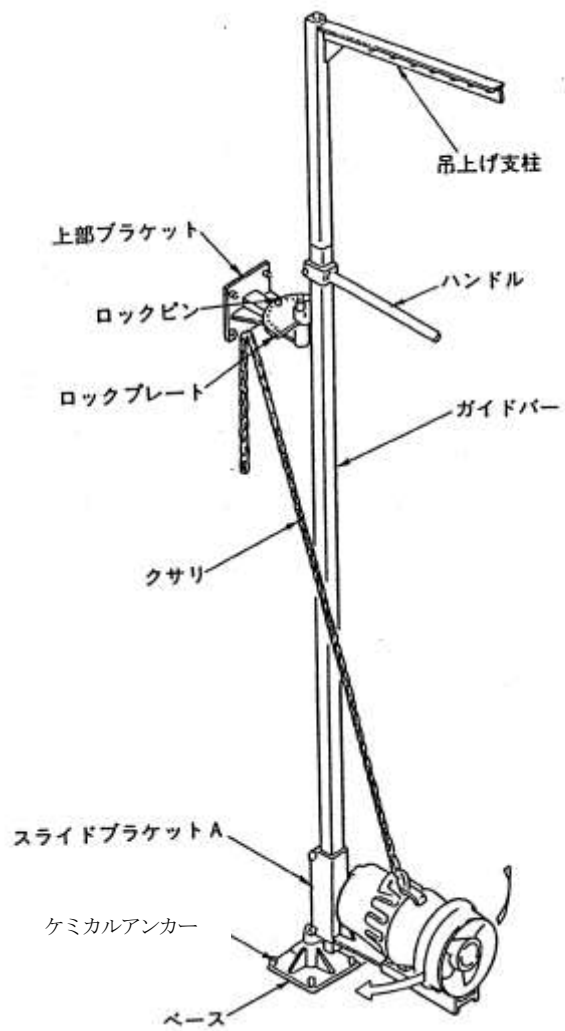
施工管理記録

汚泥貯留槽攪拌機据付記録表

工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番 (No)		立会者	



測定項目	基準値	垂直度	
		X軸	Y軸
垂直度			



汚泥貯留槽攪拌機